

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	姫路医療生活協同組合	代表者	西村 哲範	法人・事業所の 特徴	『その人らしく気持ちよく生きる』を法人理念に、医療と介護の豊富な多職種事業所が連携を取り、包括的に支援出来る事が特徴です。『一人一人に寄り添う、地域に寄り添う』を小規模多機能ホームの理念に7ヵ所開設し、営業しています。 住み慣れた地域で尊厳を持ち有意義な人生を送れるように在宅生活を意識し、利用者やご家族の状況の変化にも柔軟に対応するようにしています。
事業所名	小規模多機能ホーム おおつ	管理者	竹岡 友香子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	人	1人	1人	2人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	以前アンケートを取ったことはあるが、近年はしていないため作成したい。	利用者アンケートを取れていなかったため、早い段階で取り退路思います。日頃から、利用者、家族の意見を聞けるようなコミュニケーションが取れるよう努めます。		以前アンケートを取ったことはあるが、近年はしていないため作成したい。
B. 事業所の しつらえ・環境	ボランティアの募集に関しては、発信の仕方を工夫します	横断幕、掲示板への掲載にて発信しました。応募はあったが、繋がらなかった。引き続き発信します。		ボランティアの募集に関しては、発信の仕方を工夫します。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナの状況を見て、地域との関わり方について検討していく。	夏祭り開催し地域の方に多く参加いただきましたが、猛暑で熱中症のリスクも高い為開催時期の見直しが必要。		夏祭りに代わるものを企画・開催し地域住民との交流を図ります。地域のお店へ利用者様と出かける機会を持つ。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み		利用者の思いを日頃から把握し、行きたい時に行きたい場所に出かけられるよう職員が協力して支援します。		
E. 運営推進会議を活かした取組み				